



母と子の笑顔のために！

- 実施団体：桶谷式母乳育児推進協会



- 対象国・地域：
 - Bangladesh 人民共和国
ダッカ市

- 現地カウンターパート
 - ・ Institute of Child and Mother Health (ICMH)

- 協力内容：
 - ・ 桶谷式母乳マッサージ技術の移転、トレーナー人材の育成、教科書作成、セミナー実施、広報活動、桶谷式母乳外来の設置等

- 団体のこれまでの取り組み：
 - ・ 桶谷式母乳育児推進協会は1994年以来、赤枝医学研究財団の事業の一環として、Bangladesh の医療従事者に対する桶谷式母乳育児支援のマッサージ技術の指導を行ってきた。

- 事業実施の背景：
 - ・ WHO/UNICEFが母乳育児を世界規模で推進。特に低栄養や感染症の危険が高いBangladesh では、出産後6ヵ月までの完全母乳育児は必須である。一方で母乳トラブルにより断念する母親は3~4割にも上るといわれる。実施団体は、そうした母親に寄り添ってサポートし、母乳育児への自信を取り戻すための活動を1994年からBangladesh で展開してきた。

Bangladesh 人民共和国の課題と成果

課題 低い完全母乳率 (36.2%) と高い乳児死亡率54 (対千人, 2007) ⇒国の政策として母乳育児を推進する一方、母乳育児推進のための具体的な方法、手段が確立されていない。

成果① トレーナー人材養成(17名)、母乳外来開設(11病院)

成果② 医療関係者等への周知→ダッカ市小児病院で出産した母親の50%が母乳外来を受診

成果③ Oketani Association Bangladesh (桶谷Bangladesh 協会)が設立され組織強化

事業の波及効果



桶谷式の技術が国の政策に組み込まれた！

- ・ 2017年度6月より桶谷の技術研修がBangladesh 保健省の栄養政策であるNational Nutrition

Serves Operation Plan (NNSOP)に取り入れられることが正式に決定。

- ・ Bangladesh 政府が行う桶谷式母乳育児に関する研修はJICA円借款事業(保健サービス強化事業)で実施。

- ・ 現在、草の根パートナー型にて、マスタートレーナー育成にかかる技術協力を継続中。円借款事業ともゆるやかに連携。